



## プログラミング部門 FAQ(よくある質問)

2022/06/13 掲載

2022/08/09 更新

2022/09/07 更新

### 【競技要項について】

Q1. 「個人の成績をもとにチームの成績を算出する方式」とはどういうことですか？

A1. 予選の参加申込時から生徒2名でチームを構成する点に変更はありませんが、今年度から、予選においてはそれぞれが同じ問題を別に解き、その二人分の成績を合算したものをチームの成績と捉えることとします。

Q2. パソコン甲子園は個人戦になったのですか？

A2. チーム戦であることに変わりありません。

予選の当日こそ相談はできませんが、当日だけでなく準備の段階からチームで教え合い、切磋琢磨してお互いのレベルアップを図ってください。予選、本選のそれぞれにおいて、それまでの過程も含めて2人の総合力が試されることとなります。(Q4 も併せてご確認ください。)

Q3. 予選について、生徒はそれぞれが解答プログラムを考案・作成するのですか？

A3. 予選では、チームのそれぞれが相談せず、別々に全ての問題を解きます。本選出場チームの選出には、2人の予選成績の合計を用います。

Q4. 本選について、予選と同様にチーム内での相談や分担はできなくなりますか？

A4. 本選では、チーム内での相談や分担などの協力が可能です。詳細は別途お知らせします。

Q5. 本選をチーム戦として実施する意図は何ですか？

A5. 予選では個々のプログラミング能力を中心に競いますが、本選では限られた競技時間の中でどれだけ相談や分担ができるかという、コミュニケーションやチームワークの能力を含む、チームとしての総合力が試されます。

Q6. もうひとつの本選について、予選と同様にチーム内での相談や分担はできなくなりますか？

A6. もうひとつの本選の実施方法については本選に準じた競技ルールにおいて実施いたします。詳細は別途お知らせします。

Q7. 総合成績について、本選出場チームに選出されなければ総合成績書は発行されないのですか？

A7. 本選出場チームに選出されない場合でも、予選に参加した全てのチームはもうひとつの本選に出場で

きます。予選ともうひとつの本選の両方に参加した場合、総合成績書が発行されます。

Q8. 予選成績優秀者はどの程度の人数に与えられるのですか？

A8. 2021 大会では、参加者の約 22.4%に与えられました。

#### 【プログラミング部門全般について】

Q9. COBOL や VisualC/C++などの言語は使用できないのですか？

A9. プログラミング部門競技要項に記載のある言語以外は使用できません。

Q10. プログラムの作成形式はどうなりますか？

A10. 特に指定がない限り、問題の趣旨に沿った「コンソールアプリケーション」を作成してください。また、具体的な作成例は、「過去問」をご覧ください。

#### 【予選について】

Q11. 指定されたプログラミング部門の予選日に学校行事が予定されているため、別の日程で予選に参加することは出来ますか？

A11. 予選は、所定の日程でのみ開催されます。別の日程にて参加することは出来ません。

Q12. 会場として学校が使えない場合はどうすればいいですか？

A12. 学校の判断において、学校以外の場所を会場とすることも可能です。

Q13. 教員の都合がつかず、監督できません。

A13. 学校の判断において、適任な大人を監督者として配置して構いません。

Q14. 新型コロナウイルスに罹患し、登校することができません。

A14. 学校の判断において、学校以外の場所で適切な監督のもと参加することが可能です。

Q15. ビデオ会議システムを使って監督してもいいですか？

A15. 単にビデオ会議システムによりモニターするだけでは適切に監督したとは認められません。

Q16. チームメンバーを間違えて登録してしまいました。変更は可能ですか？

A16. 予選の 3 日前(2022大会は2022年9月7日(水)17 時まで)であれば可能です。メールでご連絡ください。

Q17. 予選でチームの一人の具合が悪く欠席した場合、どうすればいいですか？

A17. 本選出場、入賞の対象外となりますが、個人成績は発行されます。申込みをした担当教員を通じて事務局までご連絡ください。

Q18. 解答プログラムの作成にあたって使用できるライブラリの範囲を教えてください。

A18. C、C++、Javaに付随する標準的なライブラリは使用できます。詳細は公開している「解答を審査する環境」を確認してください。

Q19. 競技中にインターネットで検索して情報を得ることは可能ですか？

A19. 不可です。事前に印刷した情報を参照することは可能です。

Q20. 競技前に作成しておいたプログラムの使用は可能ですか？

A20. 紙に印刷して参照することは可能ですが、プログラムの電子的な流用(コピー&ペースト等)は認めません。

Q21. 競技中、事前にコンピュータに保存しておいたPDFや画像ファイルなどを参照することは可能ですか？

A21. 不可です。事前に印刷した情報を参照することは可能です。

Q22. 普段使用しているエディタやコンパイラの使用は可能ですか？

A22. 可能ですが、「解答を審査する環境」と同様のオプションを設定することを推奨します。(Q19 も併せてご確認ください。)

Q23. エディタによるコード補完機能を利用して良いですか？

A23. プログラムの電子的な流用(コピー&ペースト等)と見なされない範囲で利用してください。

Q24. コンピュータの標準機能の電卓は使用可能ですか？

A24. 不可です。問題を解くために必要な計算等はプログラムを書いて行ってください。

Q25. 競技要項「5 予選について」に、「競技に使用するコンピュータ(原則として生徒1名につき1台)を含む競技環境は生徒が在籍する学校等が用意します。」とありますが、自分で所有するコンピュータを使用しても問題はありませんか？

A25. 競技に使用するコンピュータは学校が所有するものの他、学校の判断で適切と認めたものを使用することができます。

Q26. 本選出場チームの選出方法について、競技要項「5 予選について」に「各生徒の予選成績の合計を用いて」とありますが、各生徒の予選成績の合計が同じだった場合、どのように本選出場チームが決定されますか？

A26. 上位10チームの選出は、以下のとおり行います。

① 得点が高いチームを上位とする。

② ①において同得点の場合には、正解した問題に対する誤答回数が少ないチームを上位とする。

③ ②において誤答回数が同じ場合、より早くその得点に達したチームを上位とする。